

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【公開番号】特開2012-208263(P2012-208263A)

【公開日】平成24年10月25日 (2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-73076(P2011-73076)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 G 3/30 H

G 0 9 G 3/20 6 8 0 H

G 0 9 G 3/20 6 9 1 D

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

G 0 9 F 9/00 3 6 6 A

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月14日 (2014.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

行列状に配置された複数の表示画素を備え、

各表示画素は、有機 E L 素子と、前記有機 E L 素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機 E L 素子は、前記画素回路に接続された第 1 電極、発光層および第 2 電極を積層して構成され、

前記第 2 電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機 E L 素子で共有された帯状電極である

表示パネル。

【請求項 2】

前記表示画素上に、前記第 2 電極と交差する方向に延在する複数の検知電極を備えた請求項 1 に記載の表示パネル。

【請求項 3】

表示パネルと、

前記表示パネルを駆動する駆動回路と

を備え、

前記表示パネルは、行列状に配置された複数の表示画素を有し、

各表示画素は、有機 E L 素子と、前記有機 E L 素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機ＥＬ素子は、前記画素回路に接続された第１電極、発光層および第２電極を積層して構成され、

前記第２電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機ＥＬ素子で共有された帯状電極である

表示装置。

【請求項４】

前記駆動回路は、前記帯状電極を流れる電流の変化に基づいて物体の接触位置を検出する接触位置検出回路を有する

請求項３に記載の表示装置。

【請求項５】

前記接触位置検出回路は、

前記帯状電極を流れる電流を検出する電流検出部と、

映像信号に基づいて非接触時の電流を導出する電流計算部と、

前記電流検出部で検出された電流の値と、前記電流計算部で導出された電流の値とから接触位置情報を導出する接触位置計算部と

を有する

請求項４に記載の表示装置。

【請求項６】

前記画素回路は、保持容量と、映像信号に対応する電圧を前記保持容量に書き込む第１トランジスタと、前記保持容量の電圧に基づいて前記有機ＥＬ素子を駆動する第２トランジスタとを有し、

前記第１トランジスタは、外光の入射する位置に配置されている

請求項３ないし請求項５のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項７】

前記表示パネルは、前記画素回路へ入射する外光を遮る遮光層を有する

請求項３ないし請求項６のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項８】

前記表示パネルは、前記帯状電極と交差する方向に延在する複数の検出電極を有し、

前記駆動回路は、複数の帯状電極を消光期間中に順次走査する

請求項３ないし請求項７のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項９】

表示装置を備え、

前記表示装置は、

表示パネルと、

前記表示パネルを駆動する駆動回路と

を有し、

前記表示パネルは、行列状に配置された複数の表示画素を有し、

各表示画素は、有機ＥＬ素子と、前記有機ＥＬ素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機ＥＬ素子は、前記画素回路に接続された第１電極、発光層および第２電極を積層して構成され、

前記第２電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機ＥＬ素子で共有された帯状電極である

電子機器。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

図２は、表示パネル１０の内部構成の一例を表したものである。表示パネル１０は、例

えば、図 2 に示したように、複数の表示画素 1 4 が 2 次元配置された表示領域 1 0 A を有している。表示パネル 1 0 は、外部から入力された映像信号 2 0 A に基づく画像を、各表示画素 1 4 をアクティブマトリクス駆動することにより表示するものである。各表示画素 1 4 は、赤色用のサブピクセル 1 3 R と、緑色用のサブピクセル 1 3 G と、青色用のサブピクセル 1 3 B とを含んでいる。なお、以下では、サブピクセル 1 3 R , 1 3 G , 1 3 B の総称としてサブピクセル 1 3 を用いるものとする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

表示部 3 0 は、例えば、図 4 に示したように、画素回路 1 2 およびその近傍において、基板 3 1 上に、画素回路 1 2、絶縁層 3 2、絶縁層 3 3 および絶縁層 3 4 をこの順に積層した構成となっている。絶縁層 3 3 は開口 3 3 A を有しており、開口 3 3 A に有機 E L 素子 1 1 が設けられている。有機 E L 素子 1 1 は、例えば、図 4 に示したように、アノード電極 3 5、有機層 3 6 およびカソード線 C T L を開口 3 3 A の底面側から順に積層して構成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

